

# on design

“暮らし”の、ポートフォリオ

家は、住み手の「暮らしの舞台」であり、「生活の器」。

建築家のぼくたちは、家づくりを通して、  
住み手の生き生きとした未来の話に触れている。  
自分の趣味の話や、居心地のよい場所の話、理想の暮らしの話だったりする。

“テラスに出てお茶が飲みたい、好きな家具を置きたい、  
子どもを見ながら料理をしたい、陽の光を多く取り込みたい、  
自分の趣味部屋が欲しい、DIYで壁を塗りたい、  
植物を庭で育てたい、お風呂でのんびりしたい、  
土間がある家がいい、音楽を楽しむ生活をしたい、  
友人を招いて庭でバーベキューをしたい…………。”

はじめは小さな断片だったイメージも、対話を通してぐんぐんと育っていき、  
生活全体や生き方や、ライフスタイルの話になり、  
暮らしたい家の姿が立体的になり未来の話は膨らんでいく。

住み手の暮らし方によって十人十色に生まれる家は、  
「暮らしの舞台」のようでもある。

このポートフォリオでは、そんな住み手との対話によって生まれた  
家づくりの一部をご紹介したい。

## growing house/growing house

### 室内と庭が行き交う暮らし方

A way of life where indoor and garden come and go

周辺に広がる山々、海へと向かう気持ちのよい風、遮るもののない青空。  
静かで自然溢れる場所で、敷地全体を使いながらお気に入りの場所を敷地いっぱいに散りばめる。  
自由に設えることのできるたくさんの居場所は、使い方に合わせて更新され、時間とともに成長していく。  
そして、目的地に行くまでの過程も、気分や季節に合わせて散歩するように楽しめるように。  
日々の変化や成長を楽しむことができる住宅。そんな生活を提案する。



木造2階建

敷地面積 218.47m<sup>2</sup>  
建築面積 86.17m<sup>2</sup>  
延床面積 113.63m<sup>2</sup>



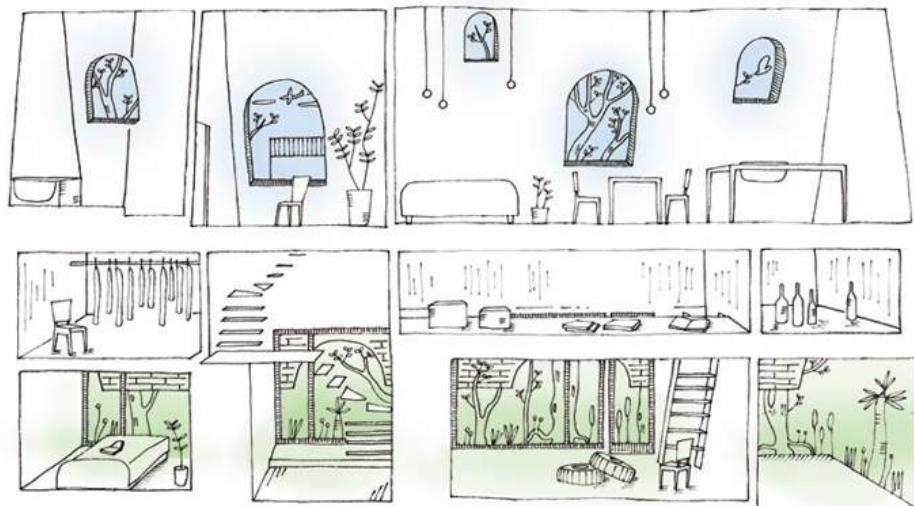
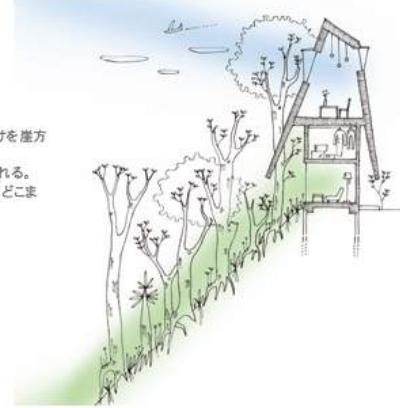
## 軒下と小屋裏の家/House with Eaves and an Attic

大屋根に包まれた崖の上の生活

A life on a cliff wrapped by a big roof

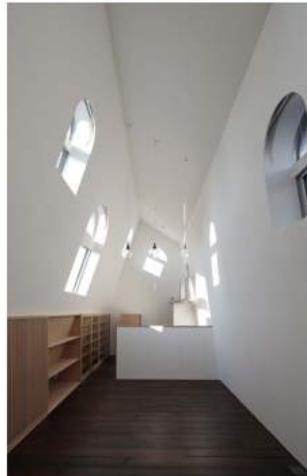
崖地を家の一部として包括するために、床を崖方向に延長するのではなく、屋根だけを崖方向に延長することにした。

この行為によって、同じ面積の住宅で感じるよりもより遠くに視覚や距離感が延長される。意識の上では数値化されない崖の部分が実際の大きさの2倍以上、いや見える範囲どこまでも住宅を拡張している。



木造3階建

敷地面積 182.25m<sup>2</sup>  
建築面積 58.18m<sup>2</sup>  
延床面積 84.84m<sup>2</sup>



## 生活のうえのひと屋根/Roof on the life

おおらかな屋根が受けとめる未来の暮らし  
A generous roof that looks over the future life

現在と未来の対話から始まる。どんどん集まる好きな小物、今後増えるであろう家族やペット、休日には友人を招いてバーベキュー。一日から数十年先までの人やモノの変化は予測不可能で希望に満ちている。おおらかな敷地全体に、新しい生活や未来の変化を受け止める大きなひと屋根をかけ。高さと光の濃淡が生まれたひと屋根の下にゆるく生活のまとまりをつくれていく。変化していく生活と、変わらずにいつでもそこにある屋根。住宅の時間軸における生活の新しい共有可能性について。



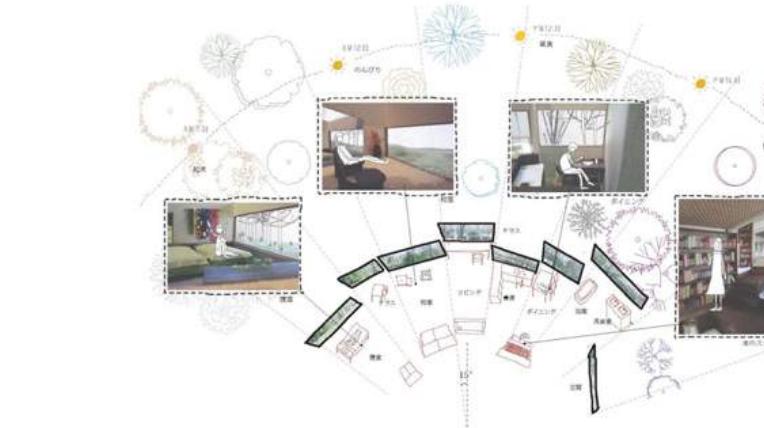
## 風景に沿う部屋 /Rooms that follow the landscape

風景の連なりが刻む、心地よい部屋のカタチ

A form of cozy room where sequence of scenery creates

目の前に広がる森、なだらかな傾斜、敷地に降り注ぐ光。ここで部屋をつくる要素は『風景』である。太陽の動きに合わせて角度の振れた窓、傾斜に沿って配置された床、これらの要素によってできる部屋はおよそ従来の部屋のかたちをしていない。角度、段差、凹凸など普段ではマイナスに捉えられることばかりだ。

しかし、この場所ではそれが大きな価値となる。



木造平屋建  
敷地面積 1018.39m<sup>2</sup>  
建築面積 115.66m<sup>2</sup>  
延床面積 95.19m<sup>2</sup>



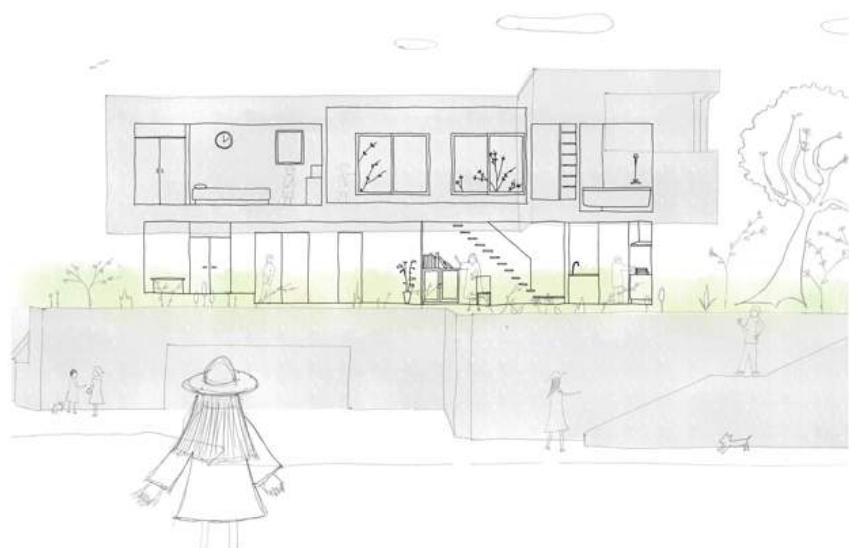
## 三層の家 / Trilaminar house

約3mの“よう壁”を最大限に生かした眺望

A view utilizing the 3m retaining wall utmost

約3mの高さのよう壁の上に広がる、屋上庭園のような眺望を持った敷地に、1階には来客を迎えるデッキ。庭と一体化的に使える開放性の高いリビングや和室を設け、2階には囲まれて落ち着くプライベート空間を配した住宅。敷地にかかる斜線制限や壁面後退で削りとられる形狀に作られた外形を、よう壁という敷地の持つ特徴を生かし、よう壁の立ち上がりも含めて三層に見立てた計画。

A house which has a deck that invites guests, a open living which can be used integrally with the garden on the first floor, a private space on the second floor on a site that lays on a 3m retaining wall with a view like a rooftop garden. This is a plan that resembles the retaining wall as the part of the house creating another layer which makes the house trilaminar making the best use of the retaining wall. The outer shape is created by setback line limits.



木造2階建

敷地面積 201.24m<sup>2</sup>  
建築面積 74.48m<sup>2</sup>  
延床面積 126.24m<sup>2</sup>

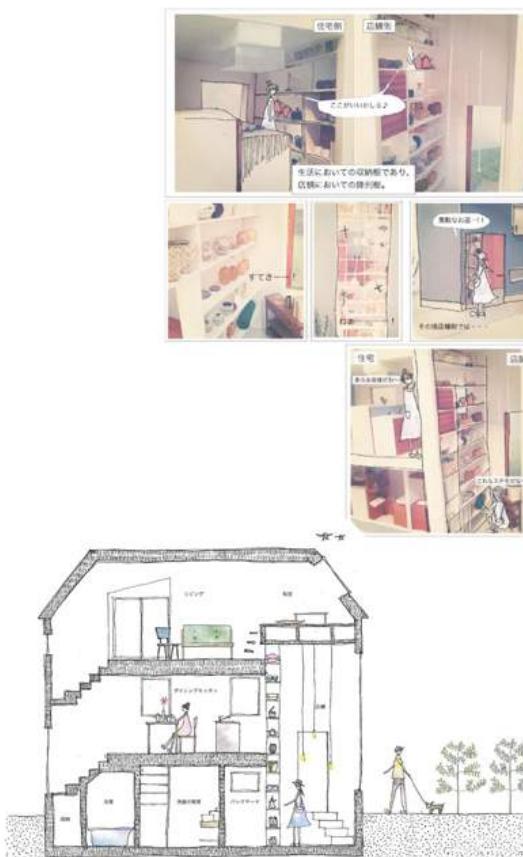


# FIKA/FIKA

10坪の敷地に建つ北欧雑貨と暮らす家

A house built in a 30 square meter land surrounded by Scandinavian design goods

FIKAは10坪の敷地に建つ、北欧雑貨を売る店舗とそのオーナーのための住宅。  
ここで売られている北欧雑貨は、今までオーナーが少しずつ收集されたもので、  
ただの売りものというよりは、今も日常的に使われていて一つ一つが生きている。  
買い手は「商品を選ぶ」というよりは「生きている雑貨と出会う」ために来るのではないか?



木造3階建

敷地面積 35.66m<sup>2</sup>  
建築面積 22.04m<sup>2</sup>  
延床面積 58.58m<sup>2</sup>

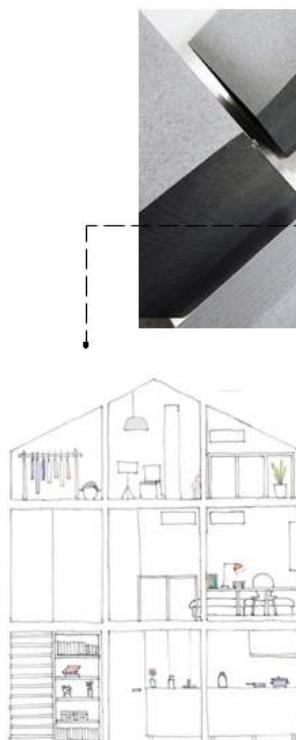


## 家と空き地/House with empty lot

### 2つの生活が向き合う家

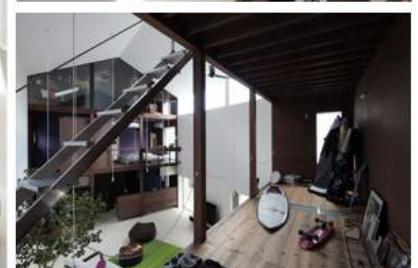
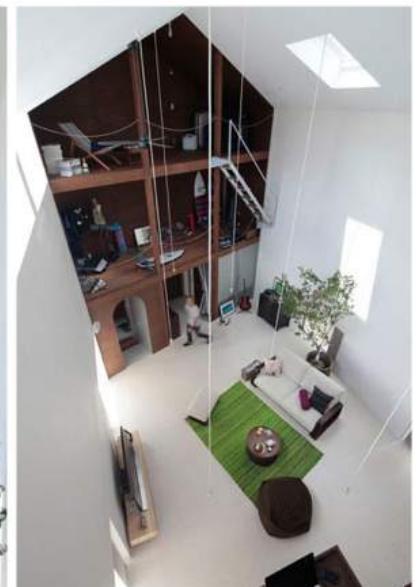
A house where 2 lives face each other

四方が建て込んだ建売り住宅に囲まれ、そこだけぽっかりと残った敷地。  
敷地の印象そのままに、生活の拡がりを受け止める大きな空き地と、そこに面したコンパクトな2つの家を横断する  
新しい日常を提案する。



サーファーの家

木造3階建  
敷地面積 140.45 m<sup>2</sup>  
建築面積 62.98 m<sup>2</sup>  
延床面積 110.06 m<sup>2</sup>



## 大きなすきまのある生活 / A life with large opening

家の中に取り込む都市のすきま

An urban slit that is taken in to the house

文京区根津の木造住宅が密集した街区にある間口3600／奥行8300のわずか9坪の敷地。普段何気なく見過ごしている家と家の隙間。その小さな都市の外部空間に、コンパクトな都市住宅が持ちきれない生活環境としてのつかいかたを発見しよう。



木造3階建

敷地面積 30.07m<sup>2</sup>  
建築面積 18.03m<sup>2</sup>  
延床面積 50.70m<sup>2</sup>



## 筒の積み木 / What categorize the city and me

「街」と「私」を意識させる筒状の断面

Tubular section that makes you aware of the "town" and "yourself"

筒状の積み木は一層ずつ部屋になってしまっており、積み重なって家型の大きな棚のような断面=立面となる。  
筒状の棚は、街と個人住宅の何を貫通して何を遮断するのだろうか。  
「街」と「私」という関係を、常に意識しながら移動する。そんな住宅。



RC3階建

敷地面積 98.47m<sup>2</sup>  
建築面積 37.07m<sup>2</sup>  
延床面積 95.36m<sup>2</sup>



## 丘の上の住宅/A house on the hill

360°の景色を楽しむリビング

Living room to enjoy 360 degree view

七里ヶ浜の小高い丘の上に建つ住宅。小高い丘の上には、背景の山々・七里ヶ浜の街並・駿河湾・江ノ島など360°様々な風景が広がっていた。私たちはこの豊かな風景たちを最大限に取り入れることを試みた。海が見える高さに1枚の大きな床を設け、周囲の高低差に合わせて床の高さを調整し、環境に合わせて風景を切り取る。大きなワンルームを360°見渡せば、海や周囲の山々、街の景色、庭の木々など様々な風景をひとつの居場所から存分に楽しめる贅沢な生活を提案する。

"A house built on a small hill in Shichirigahama. From the small hill, the view of the mountains, the cityscape of Shichirigahama, Suruga bay and Enoshima stretches 360 degrees. We wanted to take in this rich view as much as possible. We made one big floor on the level where you can get the view of the sea, adjust the level of the floors and cut out the view. This is a proposal of an one room which you can enjoy life with the splendid view of the sea, mountains, city and the trees in the garden from one place."



RC造+木造3階建

敷地面積 389.32m<sup>2</sup>  
建築面積 152.81m<sup>2</sup>  
延床面積 218.94m<sup>2</sup>



## オンオフバランス/ON/OFF balance

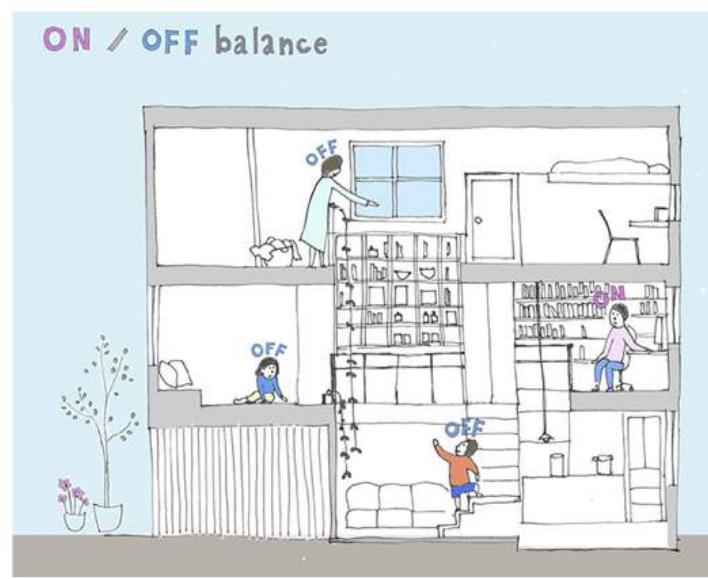
ライフスタイルをONとOFF

ON and OFF lifestyle.

敷地に建つ木造三階建ての夫婦の仕事場のある住宅。階を上がるにつれプライベートな空間になっていき、真ん中の吹き抜けからそれぞれの部屋に光や視線が通るよう家族のライフスタイルを整理して吹き抜けを囲んで各室を組み合わせて配置した。リラックスするOFFの場と仕事やパーティーなどアクティブな活動をするONの場が共存し、シチュエーションに合わせて切り替わる新しいワーク・ライフ・バランスのあり方をかたちにした住宅の提案。

"This is a 3 story house and a workplace for a couple. The more you go up the floors, the more you get privacy. Lights and view goes through the void space in the middle.

The lifestyle of the family is organized and arranged around the void as rooms. This is a house that propose new style of work life balance which transition according to situation happens by coexisting the OFF place to relax and ON place for active activities such as work or party."



## near window/near window

心地いい窓辺で過ごす週末

A weekend house to spend time by the cozy window side

南に富士山を望み、北に林の広がる敷地に建つ35mの週末住宅。より密接に周辺の環境と関わるために、窓の周辺にできる「窓辺」を35mの中に連続させる。富士山を眺めながら食事をするダイニングや、鳥の声を聞きながら寝るデイベッド。森を眺めるデスクや空を見ながら入るお風呂。週末住宅での生活は常に「窓辺」と共にある。様々な過ごし方に合わせて設えた「窓辺」が環境に合わせて連続し建築の輪郭を形づくる。



木造2階建

敷地面積 1082.04m<sup>2</sup>  
建築面積 159.71m<sup>2</sup>  
延床面積 132.95m<sup>2</sup>



## gymnasium/gymnasium

100平米の敷地に内包された大小のボリューム

Large and small volumes included in a 100 square meters land

横浜市港南区の100平米の敷地に体育館のように大きな部屋とスーツケースのように小さい部屋で構成した住宅。そこでの状況は、部屋の大きさによって喚起され、当然のように選択肢にさえ入らなかった多様な価値を、同時に受け止める。そのことが、たとえば、人の生きる環境としての可能性を拓げたりはしないだろうか。普段住宅として扱っている概念／生活／豊かさを部屋の大きさによって捉えたいという挑戦だ。



S造2階建

敷地面 積 101.34m<sup>2</sup>  
建築面 積 59.59m<sup>2</sup>  
延床面 積 148.95m<sup>2</sup>



# 海と山と家/Ocean Mountain House

内から外まで楽しむ暮らし

A life to enjoy inside and outside

海を眼下に望み、あふれんばかりの緑を備えた、自然にあふれた計画地。大人気でのBBQや、ハンモックでの寝寝、さらには庭キャンプも。思い描く生活は、いわゆる“建物”だけでは叶えられない、この環境の中に身を置いた風景だ。一方、3.5m×12mと細長い形状の敷地は山を併せ持ち、どこか扱いにくい印象がある。そこで、敷地に使い方のガイドを与えてみてはどうかと考えた。BBQの時にみんなで座れるベンチや、屋外ダイニング、プランコや屋外シャワーなど、建物に満たない“アテリア”も、建築の要素の一つとして大いに利用し配置する。内部も外部も、生活する場という視点から同じように設計することが、環境の価値をより丁寧に拾い上げ、暮らしの風景を充足していくことに期待したい。



木造2階建

敷地面積 513.93m<sup>2</sup>  
建築面積 93.02m<sup>2</sup>  
延床面積 151.10m<sup>2</sup>



## 株式会社 オンデザインパートナーズ

Business description: Architectural design · supervision · management planning · town planning

### company info

連絡先:045-650-5836

FAX:045-650-5837

MAIL:nishida@ondesign .co.jp

所在地:〒231-0012 横浜市中区相生町3-60 泰生ビル2F

Address:2F , Taisei Bldg,3-60 Aioi-cho Naka-ku , Yokohama ,Kanagawa ,231-0012 ,JAPAN